東日本鉄道東京広告会

東広会ニュース

2月号
2007年（平成19年）
Vol.32

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル14F
東日本鉄道東京広告会
電　話 03(5447)7928
E-MAIL info@tokokai.jp

「次世代の交通広告媒体開発に向けて」
～jeki媒体開発の取り組み～

『Suipo（スイポ）』や、『映像メディア』など、ネットワーク技術を活用した新しい交通広告の媒体が開発され、話題を提供している。そこで新世代へ向けて開発調査、実証実験などに取り組んでいる山本　孝　媒体開発部長（J企交通媒体局）に語ってもらった。

昨年7月J企交通媒体局内に「媒体開発部」が新設されました。この部のミッションは「新技術に対応した媒体企画・開発」及び「次世代に向けた媒体素材の調査・検討」です。活動を始めて日も浅く大部分の広告会社の皆さまにはあまり馴染みの無いこの分野の最近の取り組みについてご紹介させていただきます。

■「新技術に対応した媒体企画・開発」

昨今のモバイル・web等のデジタル・ネットワーク技術を活用したクロスメディアの波は交通広告にも押し寄せています。「印刷系メディア」が主流を占めている交通広告において、よりきめ細かく付加価値の高い情報提供を行うためには、広告媒体における「デジタル化」、「ネットワーク化」の検討が不可欠であると捉えています。

昨年新宿駅にデビューした「Suicaポスター（Suipo）」では、駅構内に初めて広告用「光ファイバー」を敷設して「ネットワークメディア」を設置しました。このSuipoは広告媒体のIT化に対応したメディアで、インタラクティブな情報提供をユーザーに行えるという大きな付加価値を持っています。Suipoは今年の4月からは主要6駅への設置駅拡大を予定しており、今後は登録者数を増やしていくことと様々な活用バリエーションを提案していくことにより、さらなる媒体価値の向上と、将来的には駅のみにとどまらず、マチナカや「売り場」と直結したプロモーションツールとしての新たな価値を創出していける可能性を持っています。

Suicaポスター（新宿駅）

Suicaポスター（新宿駅）

ネットワーク技術を活用したもう一つの媒体として、「映像メディア」が挙げられます。昨今、ＯＯＨの分野では「デジタルサイネージ」と総称されていますが、このデジタルサイネージでは、「タイムシェアリング」、「エリアセレクト」という従来の交通広告では容易では無かった大きな特長を持っています。これは時間帯や場所毎にコンテンツを特化して、クライアントニーズに合ったメッセージをタイムリーに提供できることです。現在、新宿駅・渋谷駅では大型モニター20台により「映像配信実験」を行っていますが、移動者を意識したコンテンツと時間帯・エリアにマッチしたきめ細かいプログラムを検討することにより、映像メディアとしての一ジャンルを確立したいと考えています。

駅像配信実験（新宿駅）

駅像配信実験（渋谷駅）

昨年池袋駅で実証実験を行った「デジタルサインボード」や山手線に搭載した「電子ペーパー」も、この観点から見れば「静止画配信」を行うネットワークメディア」と位置づけられます。

将来的には動画・静止画等の様々なコンテンツを一元管理して配信を行う広告ネットワークが次世代メディアとして視野に入ってくるものと思われます。

デジタルサインボード（池袋駅）

■「次世代に向けた媒体素材の調査・検討」

前述した電子ペーパーや映像モニター以外にも、媒体素材の検討テーマとしては様々なものがあります。一昨年よりサインボード光源で導入を進めているＬＥＤも各メーカーの開発技術の進歩により、コストパフォーマンスの高い製品が増えてきました。現在は複数メーカーとタイアップして、外照式サインボードで蛍光灯に替えて使用できるような、屋外用の大型ＬＥＤユニットを開発中です。このように省エネで環境に優しい媒体の開発は急務と言えます。

また媒体素材の分野ではこれ以外にも、有機ＥＬ・無機ＥＬやフルカラーＬＥＤ等の素材についても調査・検討を進めていく予定です。

以上、Ｊ企の媒体開発における取り組みについて簡単にご紹介致しました。非常に進歩の早い分野なので、積極的に情報収集を行い、タイムリーな実験と結果のフィードバックを通じて次世代に向けた媒体開発をすすめ、媒体価値の向上を目指していきたいと考えています。

中央線新型車両「E233系」初の車体広告登場！

中央線に12月26日㈫デビューした新型車両「E233系」に初の車体広告が登場した。

広告主は伊藤園で「おーいお茶」の広告意匠。2月4日㈰から3月3日㈯まで1編成で運用される。

E233系車両の車体広告

「球形バルーン広告」新宿駅南口コンコースに登場！

JR新宿駅南口コンコースに直径50センチのバルーン32個が1月30日㈫お目見えした（2月12日㈪まで）。

クライアントはマイクロソフト。同社の「Windows Vista」発売告知を訴求した。

新宿駅南口コンコースに
展開された「球形バルーン広告」

「3D特殊ポスター」日本コカ・コーラが展開！

JR東京駅、新宿駅、渋谷駅、大宮駅他8駅に「特殊加工駅ポスター」が2月5日㈪～16日㈮まで出現した。

日本コカ・コーラのB0連貼駅ポスター。5連貼ポスターのうち2枚に3D加工が施してあり、ポスターの横を通過すると、ポスター意匠面が変化して見える。

3Ｄ特殊加工されたポスター（見る角度で意匠が変化する）

東京駅「動輪の広場」に東京国税局「広域還付申告センター」

税務署に出向かなくても所得税の確定申告ができる東京国税局の「広域還付申告センター」が2月5日㈪から16日㈮まで、JR東京駅地下の「動輪の広場」に開設された。

地元の税務署に行けない会社員らも通勤途中などに申告が可能で、必要書類を持参し申告書を作成して提出すれば、居住地の税務署に郵送され、都内以外に住む人の利用も受付けていた。

東京駅・動輪の広場で展開された「東京国税局・広域還付申告センター」

平成19年3月ダイヤ改正時及び平成19年度作業規制期間の設定について

平成19年度の「作業調整期間」がJR東日本より次のように決定の連絡があった。

これはダイヤ改正及び多客輸送期間中等の列車運転の確保及び安定輸送を図るため、左記の期間が「作業調整期間」に設定された。

なお、「期間中の広告に関する作業等」については、工程の繰上げ、繰り下げを行い、調整期間中には作業は出来ないこととなる。

■作業調整期間

1 平成19年3月ダイヤ改正
　3月17日(土)22時～3月18日(日)22時
2 ゴールデンウィーク期間（在来線）
　4月27日(金)22時～5月7日(月)9時
3 株主総会期間（在来線）
　株主総会前日22時～株主総会当日22時
4 お盆輸送期間（在来線）
　8月9日(木)22時～8月20日(月)9時
5 年末年始期間（在来線）
　12月28日(金)22時～1月7日(月)9時
6 ダイヤ改正期間（在来線）
　（平成19年3月ダイヤ改正を除く）
　別途設定する

※詳しくは東京メディア・サービス設備管理部安全指導課（03-5391-1246）へ

■平成19年度「実車訓練」開催日のお知らせ

広告意匠交換を行う作業員の安全確保における広告作業関係者を対象とした「広告作業安全講習会（実車訓練）」の開催予定日が左記のとおり決定した。

開催日　平成19年8月8日(水)
　　平成20年2月6日(水)
場　所　東大宮訓練センター

お知らせ

・第4回定期総会の開催について

東日本鉄道東京広告会は第4回定期総会を左記のとおり開催いたします。

開催日　平成19年4月27日(金)
場　所　ホテルメトロポリタン（池袋）
　第4回定期総会　14時00分
　　4階　桜の間
　第3回セミナー　15時30分
　　講師（検討中）
　　4階　桜の間
　懇親会　17時30分
　　3階　富士の間

※詳細については3月下旬にご連絡致します。

会員名簿変更

・加入

スバル広告㈱（2月1日付）
代表取締役　小坪　厚氏
〒101-0023
東京都千代田区神田松永町10
　長谷川ビル
電　話　03-3258-7031
FAX　03-3258-7538

・所在地変更

㈱ビカレン（2月1日付）
〒164-0003
東京都中野区東中野1-27-6
　リバティ101
電　話　03-5284-8290
FAX　03-5284-8291

事故防止会議が開催される

■「登録23社事故防止会議」（1月24日）

線路近接作業安全のために「登録23社事故防止会議」が東京・池袋の㈱東京メディア・サービス本社会議室で1月24日(水)14時から行われた。今年度第4回目の開催である。会議には登録23社の担当者28名、JR各支社事業部、JR企画交通媒体局、東京メディア・サービス設備管理部等総勢43名が出席。

会議に先立ちJR東京支社事業部三神副課長が、「安全に対する作業の大切さ、冬場で小さな事故も増えている、心を引き締めて作業に取組んで欲しい」と挨拶があり、JR横浜支社事業部菱田副課長からは「駅構内作業において、お客様からの指摘に対しての対応が非常に悪かった、お客様への対応においても十分に配慮していただきたい」と挨拶があった。会議に入ってからは各社担当者は安全作業に対する心構えを真剣に聞き入っていた。また、事故事例に基づいて担当者同士で熱心な討議を行い、安全を誓い会議を終えた。

真剣な表情で講習を受ける登録23社の担当者